

# 提案の種

## B班—物語 4

物 語	コメント
<p>新屋は、昔から水と関係した特産物が多かった。しかし、  <u>いまでは造り酒屋しか目にしなくなり、昔の面影だけが残りつ</u>          つある。<u>雄物川の水も汚れつつあり、松林も枯れつつある、</u>          といわれているが、それでもいくつかの醸造業が秋田の名物          として気を吐いている。だから、新屋の町は<u>ももさだ</u>の昔から          の気風をかりうじて引き継いでいるといえるだろう。          とくに<u>新屋のしょつつる、はたはた寿司、サイダー</u>など昔から          の特産物が現在も生産されている。<u>醸造品だけでなく、他に</u>  <u>も特産となるようなものがあると思うが、どんな物があるだろ</u>  <u>うか？</u>  <u>二十年前までは、煎餅屋、甘太郎餅屋、白玉屋、うどん屋な</u>  <u>どが生産を続けていました。懐かしい味が今も舌に残ってい</u>  <u>ます。</u></p>	<p>① 趣のある建物が多いので、長く残          ってほしいです。</p> <p>②          ・昔の施設を再利用し、新しい新屋          の特産品を考える。          ・昔：活発→今：へによーん</p> <p>③          ・桜公園を常にきれいな水が流れて          いるようにできないだろうか。          ・我が町で植林運動を発信してはど          う</p> <p>④          ・新屋の人以外は全く知られていな          い。(外から来て新屋に住みつい          た人でも知らないのでは…)          ・せっかくの「ももさだ」新屋に住          んでいてもわからない人がいるの          で、もっとアピールしたいですね。</p> <p>⑤          ・サイダー：知りませんでした。飲          んでみたい。          ・はたはた寿司：作ってるんだろ          うか？          ・ラムネなんかもいいね。サイダー、          作ってますか？          ・現在生産されている特産品のほか、          昔懐かしい生産品を限定生産し、          販売するところがあればいい。          ・まだまだ数多く特産物があります。          白玉、うどん、酢、醤油、みそ、          納豆、魚屋。</p> <p>⑥ 新屋商店会では、新屋を売り出す          (菓子) ような商品開発中。</p> <p>⑦          ・再生、復活できないだろうか？          ・子ども達が好きな食べ物ですね。</p>

この味を孫に伝えたいと思うが、それも無理な話になりつつ

⑧  
ある。なにか良い方法は無いかと考え、婦人会に料理を頼んでみた。

さて、新屋の人たちは新屋の本当の良さを果たして知ってい

⑨  
るだろうか？だから新屋の人たちは新屋の本当の姿を発見

し、再発見していく気持ちが必要だと思う。そこから新屋の町

の新しい姿が生まれるものと思う。

おわり。

⑧

・子どもに味を教えたいのなら、いっしょに作ってしまえばいいと思う。

⑧

・同感です。目の良さを解り活用する手段を考えるグループが多くほしい。  
・自分の住んでいる町をよく知り感じる事が、町づくりの第一歩。  
・地域再発見のパネルの提示を常にできる所、更新する毎に人も集まるでしょう？

## 提 案

- ・婦人会の方々の活動の場（食品加工場、店舗）が通りにあると面白いと思います。
- ・レトロなデザインのお店で長屋をつくってみては。博物館をかねたお店。
- ・古くて新しい味、「ももさだサイダー」はいかがですかー？新屋の特産物を使った一品をつくる。
- ・地域の良さを、体で感じられる場所の提案。郷土食のお料理教室など、サークル活動の場を与える。サークル活動の場に、地域のパネル写真を飾る。（作品として募集して）→パネル写真はマメに変える事で、人が集まりやすくなる。



来たくなる？